

一般質問

～9人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 11 安力川 信之 議員

- 持続可能な渋川モデルを
 - 1 ゴミ減量化の取組
 - 2 ひとり親家庭の支援
 - 3 教育格差の是正
 - 4 デジタル化の推進とネット被害者への支援

P 12 須田 勝 議員

- 市民のしあわせが第一
 - 1 再生から創造へ
 - 2 選挙改革
 - 3 敷島駅周辺整備

P 13 後藤 弘一 議員

- 運動施設の整備について
- 市内小中学校の新型コロナ対策について
- 道路整備と安全管理について

P 14 角田 喜和 議員

- 通学路の安全対策について
- 防災対策について
- 新型コロナ感染症から市民を守る対策について

P 15 山崎 正男 議員

- 建築基準法による道路後退
- 新型コロナ感染症による、観光政策と農業政策に関して

P 11 田村 なつ江 議員

- 高木市政2期目に向けた意気込みを
- 市独自の新型コロナ対応
- 観光振興

P 12 板倉 正和 議員

- 明日の渋川を拓くまちづくり
 - 1 2期目の公約「明日の渋川を拓く10のプラン」の実現に向けて
 - 2 新型コロナウイルス対応
 - 3 移住・定住政策について

P 13 茂木 弘伸 議員

- 渋川市のゴミ問題について
- 環境美化問題について

P 14 加藤 幸子 議員

- 今回の市長選について
- 高木市長の今後の施政方針について



一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

一般質問

※マイクロツーリズム 自宅から1～2時間圏内の近距離旅行のこと。
 ※ワーケーション 仕事(ワーク)と休暇(バケーション)を組み合わせた造語。観光地などでテレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方のこと。



安力川信之

持続可能な渋川モデルを

粗大ごみの自宅収集を

質問 電話予約で机や家電などの粗大ごみを自宅まで引き取りに来てくれるサービスを。廃校舎などを活用して不要品を欲しい人に譲るためのリユースセンター設置を。

市民環境部長

個別回収は、基準適合外の粗大ごみが出されるなどの課題解決策となるので、委託事業者と協議を進めます。リユースセンターは、粗大ごみの収集方法、保管が課題となるため、企業連携のリユース事業に取り組みます。

ひとり親家庭支援センターを

質問 半数のひとり親世帯が厳しい経済状況だ。離婚時の養育費確保の支援が必要だ。専門職によるひとり親家庭支援センターを。

市長

離婚時などの養育費確保のため、公正証書作成費用の助成制度を創設しました。今後も専用の相談窓口の設置など必要と思われる支援を行い、きめ細やかにひとり親の生活支援を行っていきます。

奨学金の返還支援を

質問 市独自の奨学金の免除制度



子育て応援のまち・渋川市

を。また、代理返還する企業を若者応援企業として認定して支援を。

教育部長

日本学生支援機構が取り入れた民間企業による代理返還制度の定着状況を見つつ、どのようなインセンティブを用意できるかなど、慎重に探っていきます。

ネット上での被害者支援を

質問 インターネット上で誹謗中傷されている市民の相談支援を。

市長

刑法改正や県の条例制定の動きを受け、市でも相談体制の構築、年度内の条例制定により、被害者への支援を行っていきます。



田村なつ江

生き生き暮らせる渋川市に

質問 高木市政2期目に向けた意気込みを。

市長

コロナ対策に全力を投入し収束後を見据え、愛する渋川のため全力を尽くしてまいります。

質問

市長の考える「市民に開かれた市政の発信」とは。

市長

市政の動きを市民に伝え、その意見を受けとめる、市民と行政が双方向になる市政を行います。

市独自の新型コロナウィルス対応

質問 濃厚接触者や自宅療養者への支援内容は。

市長戦略部長

市独自で日常生活に必要な物資の提供やごみ出しなどの支援を行うこととしました。

質問

ワクチン接種の状況と今後の見通しは。

スポーツ健康部長

10月末までに市民の約85%の人が2回目接種を完了する見込みです。今後も接種機会の確保に努めていきます。

質問

若年層への感染拡大を防ぐ取り組みをどう考えているか。

スポーツ健康部長

早期に若年者へのワクチン接種環境を整えた

め、接種率は順調に伸びています。**観光振興**

質問

コロナ禍に対する観光への支援は。また今後の取り組みは。

産業観光部長

衛生管理基準を定め、市民の宿泊補助やマイクロツーリズム等を実施しました。加えてワーケーションを支援します。

質問

伊香保温泉では観光庁の予算事業が採択された。進ちよく状況は。

市長

ポストコロナを見据え、廃ホテルの撤去や高付加価値化に向けた改修工事に着手しています。



自宅待機者支援物品



須田 勝

再生から創造へ

再生から創造へ

質問 選挙公約である「明日の渋川を拓く高木つとむ10のプラン」の進め方は。

市長 コロナ禍や人口減少という時代の変革期に対応し、市民の命と暮らしを守るため、しっかりと責任を果たし、活力あるまちづくりに向け市政を推進していきます。

選挙改革

質問 8月29日の選挙における、低投票率の原因と投票率を向上させる方策は。

総務部長 緊急事態宣言下で投票を抑えた有権者がいたことが低投票率の一因だと考えています。今回の選挙ではターゲティング広告を新たに実施しました。

質問 市長選で、中澤代表監査委員が田邊候補者の後援会副会長として、あいさつをしている映像がネット上で流れた。公職選挙法第136条の2に抵触するのでは。

総務部長 監査委員の選挙運動については、その地位を利用した場合に法律に抵触するおそれがあり

ますので、疑いが持たれないように注意する必要があります。

敷島駅周辺整備

質問 現在までの取り組みや進

ちよく状況は。また、複数箇所の更地の所有者は市による活用に協力的な姿勢である。市や官民連携による開発計画や市の支援策は。

産業観光部長

商工会青年部と協議を行いました。進んでいない状況です。開発計画は、現在ございません。開業等の費用の補助制度がありますが、本地区は重点地区として上乘せしております。



再生が期待される駅周辺



板倉 正和

明日の渋川を拓くまちづくり

2期目の公約「明日の渋川を拓く10のプラン」の実現に向けて

質問 公約の実現に向けた体制づくりは。

市長 全体の政策を総合的に調整する市長戦略部を中心に、政策戦略会議で検討を行い、さまざまな施策を迅速に推進していきます。

新型コロナウイルス対応

質問 市有施設の利用の制限をどのような基準で決めているのか。

危機管理監 国や県の要請を受け、市のコロナ対策本部会議を開催し、警戒度に応じた各施設ごとの利用制限を協議しています。

質問 自宅待機者に対する渋川市独自の取り組みの経緯は。

市長戦略部長 複数の関係部署や県と調整を重ね、市民の不安にきめ細やかに寄り添う渋川市独自の支援モデルを立案いたしました。

質問 ポストコロナを見据えたまちづくりの取り組みは。

市長 コロナを抑えながら徐々に市内経済を循環させていくため、クーポン券の発行などで小規模事

業者の経営継続を支援します。

移住・定住政策について

質問 移住・定住を進めるための今年度の新規事業の取り組み状況及び既存拡充事業の状況は。

総合政策部長 婚姻等新生活開始に対し助成金を交付し、移住者の住宅支援や空き家リフォームなど補助金加算等の拡充を図りました。

質問 地方の暮らしやすさを実感してもらうための取り組みは。

総合政策部長 移住希望者に渋川に来て市を知っていただくこと、お試し滞在費補助を行いました。



移住促進

一般質問



後藤 弘一

スポーツと教育、 そして地域に着目して

運動施設の整備

質問 屋外施設と周辺の除草、樹木の枝切りはどの程度で行い、どう工夫をしているのか。また、運動施設の維持管理に、競技団体やボランティア団体の活用の考えは。

スポーツ健康部長 定期的に巡回し必要に応じ除草等行っています。

市長 運動施設の管理を利用者と市が協働で行える仕組みが導入できるよう、検討を進めていきます。

質問 中村緑地公園整備の進捗状況は。

建設交通部長 中村緑地公園整備計画を策定し、現在、現地踏査を行い、スポーツ施設等の配置について検討している状況です。

市内小中学校の新型コロナウイルス感染症対策

質問 2学期の諸行事等、感染対策の具体的な工夫と、感染者等が発生した場合の対応は。

教育部長 運動会等で参加人数や観覧場所の制限等の対策を行い、思い出に残る行事となるよう工夫しています。感染者が確認された

場合は、保健所と連絡を取り合いながら丁寧に対応していきます。

道路整備と安全管理

質問 子持地区のコンクリート舗装の補修を市の総合的政策として実施できないか。

建設交通部長 他の地区と同様に緊急性や優先度を考慮して市道の補修を実施してまいります。

質問 農耕車優先道路の看板を設置できないか。

産業観光部長 交通安全対策の観点から、設置の必要性と表示方法について研究してまいります。



農業者への思いやり！



茂木 弘伸

渋川市のごみ問題について

質問 本市は、1日当たりのごみ排出量が県内12市中2位。ごみ処理費用の増加は、最終的に市民負担増となる。排出量削減対策は。

市民環境部長 再生可能なごみが相当量あると考えるので、分別の徹底と自治会等が取り組む資源ごみの回収量増が重要と考えます。

質問 資源ごみの持ち去り被害が出ているが、市には持ち去りに対する規定がないため、処罰ができない。条例制定の考えは。

市長 資源ごみ持ち去りの被害を防ぐためにも、早急に検討し年内に条例改正を行います。

質問 清掃センターの在り方について、市はどう把握しているか。

市民環境部長 稼働から28年を経過し広域組合で検討が開始されたばかりです。多額の予算を必要とするため、現行施設を延命化した上で、更新するものと考えます。

質問 粗大ごみ回収について、石原西自治会では支援に取り組んでいる。こうした取り組みを市内全域に広められないか。

市民環境部長 重要な取り組みなので、さらに広がるよう回収に取り組む団体への支援を継続します。

質問 プラスチックごみの分別収集、削減に向けての取り組みは。

市民環境部長 渋川広域圏として、令和5年度もしくは6年度の分別収集開始を目標に協議を進めます。

質問 市の不法投棄ごみ対策は。

市民環境部長 投棄されたごみの放置がさらに投棄を助長したり災害を引き起こすと判断した場合、自治会や環境美化推進協議会と協力して撤去に努めています。



石原西自治会の粗大ごみ支援活動



角田 喜和

スクールバス利用で 危険通学路回避を

質問 津久田小学校校区の通学路安

全点検の結果、変更した通学路には危険箇所がある。地元保護者も対策を望んでいるのでスクールバスの利用を認めるべきと考えるが。

教育部長 バスは、2・5km超の

通学距離を利用条件としています。

教育長 道路等の交通安全対策は、

関係機関と連携して取り組みます。子どもたちが危険回避能力を身に付けられるような指導を行うなど、状況に応じた安全対策を講じます。

質問 赤城地区を流れる一級河川の天竜川と田之郷川の一部に土管が埋められており、大規模災害発生時に土砂等でふさがれる危険性がある。河川法違反である。承知しているか。どう対処するのか。

建設交通部長 両河川とも一級河川であるため、群馬県が維持管理をしております。県に確認したところ、対応を検討中とのことでありました。今後の県の対応を注視し、引き続き適正管理を要望してまいります。

質問 新型コロナウイルス対策で



見直し後も危険な通学路

インフルエンザの時期と重なる第6波が来たときの対策が必要。12

歳未満のワクチン接種ができない子どもたちに無料で受けられる抗原検査や無症状者を見つけるためにも、無料のPCR検査が必要。予算をつけ体制を取るべき。

市長 日常的にPCR検査を行う

ことで本来の必要な検査体制に支障を生ずる懸念もあります。感染状況をみながら、第6波に備え、どのような対応を整えていくべきか、医師会等と協議を行い、必要な体制を検討していきます。



加藤 幸子

違法行為を許さない 市政の実現を

女性の尊厳を傷つける人権侵害

質問 市長選挙のチラシで、選挙

に関係ない女性職員の人権を傷つける宣伝がされた。卑劣で最低な行為であると思うが市長の見解は。

市長 今回の誹謗中傷は事実無根

の内容であり個人の社会的評価をおとしめ人格を攻撃するものです。法的手段も含め厳正に対処します。
なぜ告発しないのか

質問 望月市議の関連する会社の

森林法違反を市は認めているのかも関わらず、なぜ告発しないのか。
市長 無断伐採の森林法違反を行った行為者から造林を行う顛末書の提出を受け指導書を交付しました。これに従わない場合は告発に踏み切るなど、厳正に対応します。

議会で請願採択

質問 硯石の原状回復の請願が採

択された。市長は期限を決めて望月氏へ原状回復を求め、原状回復をしなければ告発する考えはあるのか。

市長 議会において請願書が採択されたことから改めて望月氏に対

し期限を付し原状回復を求めます。

農地法違反ではないか

質問 農業を営んでいない者の農地取得に関して、農地取得者が農業をしていなければ農地法違反では。その農地に生の鶏ふんを埋めている情報を農業委員会は持っているか。地目と税目も調査すべき。

農業委員会事務局長 農地の不適正管理は是正指導を行っています。鶏ふんの情報提供はありました。

総務部長 農地に関する課税地目は、農業委員会からの情報及び現地確認を行い決定しています。



ジェンダー平等の社会を

一般質問



山崎 正男

渋川市発展のために

建築基準法の道路後退用地

質問 道路後退用地は市内にどのくらいあるか。また、すれ違いが楽になるように一部でも道路使用可能に整備を。

建設交通部長 平成30年度から令和2年度の3カ年で251件ありました。市の帰属となった後退用地は、既設道路路面に合わせ、順次整備を行っております。

新型コロナウイルス感染症による観光政策と農業政策に関して

質問 交流人口減による道の駅や観光農園の売り上げ大幅減の対策は。

産業観光部長 農畜産物と観光の宣伝活動の実施方法や開催する会場を検討し、道の駅や観光農園への交流人口の増加策を推進します。
質問 交流人口増大のために、民間やJRに働きかけて湘南新宿ラインの延伸を。

建設交通部長 観光事業者等と連携し、コロナ後の観光客誘客と湘南新宿ラインの乗り入れに今からできることを行つてまいります。



くいが打たれたままの道路後退

質問 石段街は整備により散策客でにぎやかさがある。ロープウェイ展望台から森林公園の広大な自然を将来的に伊香保の目玉としての活用の検討を。可能であれば誘客施設等の検討を。

市長 榛名東麓の自然を生かした観光地づくりを進めるため、まずは市全体の資源を磨き上げ広範囲に連携させていきます。併せて伊香保温泉の高付加価値化により、長期滞在を求める新たな観光ニーズにも、対応してまいります。

令和3年12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
		本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	一般質問	一般質問	
5	6	7	8	9	10	11
	一般質問	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	常任委員会 (予算)	休会	
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 (表決・閉会)					

○本会議は午前10時から開会します。
○日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

新議員の紹介



後藤 弘一 議員

令和3年8月29日執行の渋川市議会議員補欠選挙で、後藤弘一氏が当選されましたので紹介します。
なお、所属の常任委員会は経済建設常任委員会及び予算常任委員会です。

議会人事

○令和3年8月22日、田邊寛治議員が渋川市長選挙の立候補の届出により失職
○令和3年9月21日、石倉一夫議員が総務市民常任委員長に就任
○令和3年9月21日、中澤広行議員が経済建設常任委員会から総務市民常任委員会へ所属変更

